

大山縦走

【報告者】坂井

【日時】2008年3月1日(土)～2日(日) 【天候】晴れのち曇

【参加者】田中 Dr、樺島、坂井

コースタイム

3/1 15:00 JR 香椎駅 22:00 大山駐車場(泊)

3/2 7:30 駐車場 9:30 弥山山頂 10:00 10:50 剣ヶ峰

12:00 ユートピア小屋 12:30 14:00 元谷小屋 14:30 駐車場

15:00 22:00 JR 香椎駅

報告

この冬3回目の大山!しかも今回が一番の強行軍?と思ったが、出発の3/1福岡は気持ちの良い晴天。15時に香椎駅に集合、明るいうちからの移動ということで今までにないウキウキした(?)気持ちの中(明日への期待も含む?)、田中 Dr の車でいざ出発。途中、高速 PA で夕食を取る。車内では音楽、映画の話…。田中 Dr がバンドでベースをやっていたとは…。車の中の CD も最近の J-POP 系が大半、とても意外でした(大変失礼しました)。樺島さんとは以外なところ(?)で音楽の趣味が合うのか、前回まさかピナクルで STOOGES の話ができるとは思ってもみなかったなので、今度じっくり音楽の話でもしたいですね。

3人で交代で運転させていただきながら、ほぼ予定通り 22:00 大山駐車場に到着。今回 ECT を各自持参(計3枚)、往路は小刻みに IC 乗降したが、結局思ったほど効果なしですかね…。

駐車場に車を止め横にテント設営、時間が早いからか車は前回2月ほど多くはない。軽い宴会の後、0:00 前後に就寝。

翌朝 6:00 過ぎに起床、気持ちの良い朝である。7:30 出発。夏道登山道入口前から垣間見える大山の姿…。天気が良いので周りの景観が違って見える。何とも言えない良い気分である。

夏道登山道、樹林帯の中を進む…。ちょっとペース早いな?と思いつつ、若干遅れながらついていく。ウーンそれにしても暑い!1時間ほど歩いて小休止、振り返ると日本海!綺麗だ。6合目避難小屋を知らないうちに通り過ぎ、稜線に出る。さすがに風が出てきた。アイゼンを装着し先に進む。

それにしてもこの良い天気、この良い景色。空の「青」と雪の「白」のコントラス

トが堪らなく美しい。(ホント単純だけど)来てよかった!と思う。

周りの景色を堪能しながら 9:30 山頂到着。

頂上小屋は2階まで埋まっている。

30分ほど休憩し、いざ稜線へ!!

この頃になるとほとんど無風状態。

天気予報通りである。(南風 いったん無風
天気下り坂とともに北風)



[山頂へ]

稜線にはトレースなし。

田中 Dr トップでコンテで進む、危険な数ヶ所
はスタンディングアックスピレイでスタカット

へ移行、安全を期す。雪が稜線を覆っているため雪庇の危険が絶えず付きまとう。

そういう意味でトップは相当な緊張を強いられるであろう。田中 Dr の後ろ姿を見ながら「自分だったらどうする」と自問自答しながらのフォロー隊でした。

後ろを振り返ると、私達のパーティのトレースにつられてか、数名が弥山から
剣ヶ峰の稜線をこちらに進んでくることが見える、ロープは...なし。



[田中 Dr 核心部を抜ける ...]

剣ヶ峰を越え、更に先に進む。遠く稜線上に
ユートピア小屋が見える。

慎重に歩を進める、核心部を越え、一安心。
途中巨大な雪庇を右に見ながら、ユートピア
小屋への分岐で小休止。

実は弥山からのここまでの縦走路の間、
小動物の足跡が稜線の右に左にくっきりと
残っていた。時には雪庇の存在を知ってた
かのように迂回するトレース、時には「そこ
ヤバイだろ」というところに大胆なトレース、

彼が何を求めてこの稜線を進んでいったのか? ... は知る由もない...

ユートピア小屋へはあとは下るだけ。12:00 小屋着、中に入ろうとするが、鍵が
かかっており冬季閉鎖(?)。予報通り次第に北風が強くなり、空も雲がかかって
きた。風を避けて休憩、栄養補給。

小屋を出発した後、直後の分岐を左に取り斜面をトラバースして上宝珠越へ。

前回撤退の弥山尾根を右に見ながら、中宝珠越~元谷小屋へと下る。



[お疲れさまでした！]



[来年もよろしくお祈いします]

途中、雪壁下降（かなりの傾斜...）もあり楽しかったです（ヘルメットがあつてよかった）。元谷小屋の脇を抜け、一気に駐車場まで下山、14:30 ほぼ予定通り。

今年は大山で存分に楽しませてもらいました。

私にとって今年最後の冬山を、好天そして素晴らしい景色で締めくくることができました！今回誘っていただいた田中 Dr、樺島さん とうもありがとうございました。

来年は是非、弥山尾根を...

樺島さんコメント

「空の青と雪の白、水平線まで見渡せる良さは、まさに登りがいのある山でした。天候が違えば難易度が別物になること、ダメな場合はまた次週また次週という気構えも必要で、ただ、せっかくのチームが皆は揃わないことなど、今思えば、ひっくるめて楽しかったです。写真を見て改めて誇らしく思います。ありがとうございました！」